



## GBFund (東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド) 第3回助成活動を決定

### ■ 震災復興に向けた芸術・文化活動に13件534万円の助成を決定

公益社団法人企業メセナ協議会(東京都千代田区丸の内 1-8-2、理事長:福地茂雄[アサヒビール株式会社相談役])は、このたび GBFund(東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド)の第3回助成選考会を行い、総額 5,340,000 円\*を以下の計 13 活動に助成することを決定しました(\*総額には前回までの助成活動に対する寄付先指定による寄付:2 活動/1,940,000 円を含む)。これにより、GBFund 設立以来の寄付総額は 18,298,000 円(6月16日現在)、助成実績は計 38 活動/総額 16,144,000 円となりました。

### ■ 遠隔地との心の交流や継続的なサポート活動も

今回は当ファンドへ 100 件\*を越える助成申請がありました。採択された助成活動の中には、被災地へ向けた支援はもちろん、芸術・文化を通じて、離れた地域と被災地との間の心の交流を図る活動や、長期的に被災地をサポートする“仕組み”が提案されるようになっております。当ファンドでは引き続き多くの方々のご賛同を得て寄付を募って参ります。何卒ご支援ご協力の程お願い申し上げます。(※通算での申請総数:160件)

#### 第3回助成活動一覧

(※活動内容の詳細については別添書類を参照)

活動名(実施場所)	実施者・団体名(所在地)
「希望の鼓」雄勝中学校和太鼓支援プロジェクト(宮城県)	有限会社 3D-FACTORY(宮城県)
MMIX 復興支援プロジェクト—3.11 メモリアルプロジェクト(宮城県)	一般社団法人 MMIX Lab(宮城県)
被災地支援「舞台芸術鑑賞&交流プロジェクト」(岩手県)	株式会社アングリエイティブ(東京都)
演劇「カタクリの花の咲く頃」大船渡公演(岩手県)	有限会社劇団銅鑼(東京都)
東北九州 プロジェクト(東北・九州)	東北九州プロジェクト実行委員会(福岡県)
あるくと出前部(宮城県)	アートリバイバルコネクション東北(宮城県)
TSUMUGU プロジェクト～じゃんがらを紡ぐ～(福島県)	TSUMUGU プロジェクト実行委員会(福島県)
震災孤族を防ぐ ジャズコミュニティカフェプロジェクト(岩手県・神奈川県)	野毛地区街づくり会 野毛 Hana*Hana 委員会(神奈川県)
東日本大震災 被災郷土芸能復興プロジェクト in 大船渡・越喜来(岩手県)	社団法人全日本郷土芸能協会(東京都)
小湊浜の獅子舞復活プロジェクト(宮城県)	小湊浜の獅子舞復活プロジェクト(宮城県)
がんばろう石巻! 応援コンサート(宮城県)	財団法人石巻市文化スポーツ振興公社(宮城県)
仰山流笹崎鹿踊保存会(岩手県)	仰山流笹崎鹿踊保存会(岩手県)
八幡大神楽(岩手県)	八幡大神楽(岩手県)

以上

■公益社団法人企業メセナ協議会■ 企業によるメセナ(芸術文化支援)活動の活性化を目的に1990年2月に発足した公益法人。企業メセナへの意欲を高め、メセナや芸術文化に対する社会の理解を深めるため、1.啓発・普及、2.情報集配、3.調査・研究、4.顕彰、5.国際交流、6.助成認定等を行う。日本で唯一のメセナ専門の中間支援組織。正会員133社、準会員39団体(2011年6月現在)。

【本件に関するお問い合わせ先】公益社団法人企業メセナ協議会 作田

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-2 第一鉄鋼ビル 1階 / URL: <http://www.mecenat.or.jp>  
TEL.03-3213-3397 / FAX.03-3215-6222 / E-mail: [tsakuta@mecenat.or.jp](mailto:tsakuta@mecenat.or.jp)

### 第3回 GBFund(東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド)助成活動一覧

実施者・団体名(所在地)／ 活動名／実施日／場所	活動内容
「希望の鼓」雄勝中学校和太鼓支援プロジェクト 有限会社 3D-FACTORY(宮城県) 2011年6月～11月 石巻北高校飯野川校校舎(雄野中学校移転先)	石巻市立雄勝(おがつ)中学校では、地域芸能継承授業として和太鼓を通じた教育や演目の継承、地域連携を図ってきたが、このたびの震災で、和太鼓の流出、学校の被災、指導者の犠牲等があり、活動再開が困難な状況にある。学校からの要望を受け、11月に「復興太鼓」として児童たちが演奏できるよう、演奏指導や楽器貸し出し等の支援を行う。
MMIX 復興支援プロジェクト—3.11 メモリアルプロジェクト 一般社団法人 MMIX Lab(宮城県) 2011年5月11日以降～半永久的に 宮城県仙台市沿岸部	大震災で建物が跡形もなくなった沿岸部地域を、何事もなかったかのようにきれいなまちに戻すのではなく、後世に震災の記憶を伝える「もの」をメモリアルオブジェクトとして「このすプロジェクト」を行う。震災が残した大きな爪痕である、原型をとどめない瓦礫や残骸等に、アートの視点を加え、地域復興の原点とするシンボリック的拠点をつくり、伝えていく。
被災地支援「舞台芸術鑑賞&交流プロジェクト」 株式会社アンクリエイティブ(東京都) 2011年6月下旬、11月を予定 岩手県釜石市釜石公民館、他近隣公民館	釜石の文化教育関係者からの要請を受け、子どもたちとその家族、避難所の方々を対象に、音楽(和太鼓)とダンスの舞台芸術鑑賞会と、ワークショップ形式の交流会を開催する(コンドルズ/ヒダノ修一と仲間たち)。被災したアーティストらも活動に参加することで、現地の芸術団体やアーティストに活動の機会をつくり活性化を図る。
演劇「カタクリの花の咲く頃」大船渡公演 有限会社劇団銅鑼(東京都) 2011年11月(日程相談中) 大船渡市文化会館 リアスホール	生命尊重と保健・医療・福祉・教育重視の村政で知られる岩手県沢内村(現・西和賀町)の歩みを描く本作品は、本年2月に物語の現地で初演され、11月に盛岡市内で公演予定だった。上演を支えてきた現地の医療関係者が、震災後支援に入った大船渡の現状を知り、被災地の方々の心の支援を願って、復興のエールとして大船渡での公演を実現する。
東北九州 プロジェクト 東北九州プロジェクト実行委員会(福岡県) 2011年7月～2012年5月 九州内にある商業施設の空きスペースあるいはイベントブース・文化施設・ギャラリー等	「見せる場・売る場・見る人・買う人」が激減している東北においても「生み出す力」は残されている。東北のアーティストやデザイナーの作品を、九州各地の連携施設で管理・保管・展示・販売し、九州の経済力で東北の創造力復活を後押しする。義援金や寄付と異なる方法で、文化面、九州から、中長期的に東北と連携して復興支援に取り組む。
あるくと出前部 アートリバイバルコネクション東北(宮城県) 2011年4月4日～2013年3月31日 福室市民センター(仙台市)、社会福祉法人慶和会花いちもんめ(東松島市)、知的障害者支援施設多夢多夢舎中山工房(仙台市)、社会福祉法人しおかぜ福祉会(岩沼市)	震災後、不眠や運動不足、抑うつ、声が出にくい等、不安と緊張の毎日を過ごす高齢者や障がい者の方々を対象に、ダンサーや俳優を施設に派遣。ストレッチやマッサージ、コミュニケーションゲーム、紙芝居、演奏、映画上映、美術、朗読、お茶を飲みながらの対話等を通じて、心身の緊張を解きほぐし、ほっとするひと時、ストレス発散や交流の場を提供する。

実施者・団体名(所在地)／ 活動名／実施日／場所	活動内容
TSUMUGU プロジェクト～じゃんがらを紡ぐ～ TSUMUGU プロジェクト実行委員会(福島県) 2011年8月13日～15日 いわき市内の盃蘭盆を迎える家々	福島県いわき市の夏の年中行事で、盃蘭盆を迎える家々を廻り奉納される供養の踊り「じゃんがら念仏踊り」は、江戸時代から続く同市の指定無形民俗文化財の一つ。今夏、地元の3つの青年会とともに、じゃんがらとそれに関わる人々の思いを記録し発信することで、震災や原発事故で分断されようとしている土地の記憶をどう紡いでいくかを考える。
震災孤族を防ぐ ジャズコミュニティーカフェプロジェクト 野毛地区街づくり会 野毛 Hana*Hana 委員会(神奈川県) 2011年8月6日～21日の間の6日程 岩手県陸前高田市高田町本丸公園(ジャズ喫茶「h. イマジン」跡地)、岩手県大船渡市盛川(仮店舗)神奈川県横浜市中区(ジャズ喫茶「ちぐさ」限定復活店舗)	人々に親しまれた陸前高田市のジャズ喫茶「h.イマジン」は、大震災の津波被害で全壊喪失したが、店主が無料のコーヒーと寄付された蓄音機を携えて避難所をまわり、ジャズ音楽を通して被災者の交流の場をつくった。その活動を横浜のジャズ喫茶と協力してさらに充実させ、「簡易ジャズ喫茶」を避難所や仮設住宅に設置。人の集まれる場を提供し、震災孤族を防ぎ、新たなコミュニティーづくりの第一歩とする。
東日本大震災 被災郷土芸能復興プロジェクト in 大船渡・越喜来 社団法人全日本郷土芸能協会(東京都) 2011年6月上旬～8月お盆 岩手県大船渡市三陸町越喜来地区内の被災集落、各家、共同墓地等	大震災の津波被害で、岩手県大船渡市三陸町越喜来(おきらい)地区の浦浜念仏剣舞保存会、金津流浦浜獅子踊保存会の活動拠点である合同詰所が全壊、道具や太鼓の多くが流失・破損した。「鎮魂」を根底に地域の先達から継承してきた両郷土芸能の意義を再確認し、道具・装束を再整備、稽古を再開し、今夏のお盆に鎮魂と復興を祈る公演を目指す。
小湊浜の獅子舞復活プロジェクト 小湊浜の獅子舞復活プロジェクト(宮城県) 2011年6月～8月 仙台駅東口 宮城野通り	住民の多くが漁師である宮城県石巻市の小湊浜地区は、震災で甚大な被害を受け復興の見通しが立たない。江戸時代以前から地域に伝わる民俗芸能で、漁師たちの誇りでもあった獅子舞も津波で流失した。獅子頭を復元し、獅子舞を今夏に復活するという短期的な目標を掲げ、皆で実現することで、漁師の誇りを取り戻し、港の集落復興にもつなげていく。
がんばろう石巻！応援コンサート 財団法人石巻市文化スポーツ振興公社(宮城県) 2011年6月～11月 石巻市内小学校、中学校、高等学校、幼稚園および施設や企業	震災で甚大な被害を受けた石巻市では公共ホールや施設が多数被災し、いまだ一部の学校や施設は避難所である。被災者でもある企画者自身が支援の必要性を感じる、避難所の学校の児童・生徒・職員を対象に、同公社が培ってきた学校アウトリーチ事業の経験とネットワーク、アーティストとの信頼関係をいかして復興支援コンサートを開催する。

実施者・団体名(所在地)／ 活動名／実施日／場所	活動内容
仰山流笹崎鹿踊保存会 仰山流笹崎鹿踊保存会(岩手県) 2011年7月～ 岩手県大船渡市	岩手県大船渡市笹崎地区では先祖代々「仰山流笹崎鹿踊(ししおどり)」を継承してきたが、大震災が引き起こした大津波により、装束(鹿頭、鹿角など)ならびに、太鼓、付属品の一切を流失した。装束一式を揃え直し、郷土芸能活動再開するために動き出す。
八幡大神楽(岩手県) 八幡大神楽(岩手県) 2011年9月～ 岩手県下閉伊郡	岩手県山田町では、地元の山田八幡宮に奉納する芸能として「八幡大神楽」を明治時代から継承してきたが、今回の震災による火災で常宿としていた建物が全焼しほとんどの道具を焼失した。獅子頭や太鼓、衣装等、継承に必要な道具を揃え、八幡大神楽を復活させる。

公益社団法人企業メセナ協議会 第3回 GBFund(芸術・文化による復興支援ファンド)選考会概要  
 開催日程:2011年6月16日(木)  
 選考委員:片山正夫理事(セゾン文化財団常務理事)、加藤種男理事(アサヒビール芸術文化財団事務局長)、  
 吉本光宏理事(ニッセイ基礎研究所主席研究員・芸術文化プロジェクト室長)  
 採択件数:13件、助成総額:5,340,000円(助成総額には寄付先指定による助成2件を含む)

以上